

(4) 造園の魅力が引き出された美しい空間の創出

ア 植栽を効果的に使った空間を創出する

(ア)シンボル

敷地のコーナーに植栽されたシンボルツリーは、空間を引き締めるとともに周辺のランドマークにもなっている。

特徴ある樹木を数本植えることでシンボリックな空間を演出している。



(イ)アイストップ

広場状空地の突き当たりに植栽された高木群は、アイストップとして空間を引きしめるとともに、背後のビルの角を消すことで空間に柔らかさを与えている。

アイストップとなる独立樹も、自らの敷地に設置された看板で、見る方向によっては価値が下がってしまう。



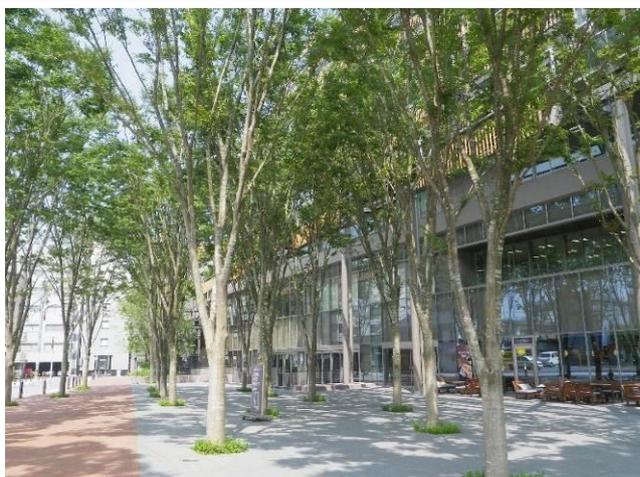
凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

(ウ) 抜け

歩道状空地の両側に列植された高木は、潤いをもって歩行者の視線を抜く効果がある。



歩道状空地に配置された多様な植栽は見る方向によって、変化に富んだ潤いをもって歩行者の視線を抜く効果がある。



(エ) 一団の塊

周囲の見通しを確保しながら、樹木を階層的に塊として植栽することで、緑量感を増す効果が期待できる。



低木主体の植栽で階層的になっておらず、緑量感が乏しい空間となっている。高木を配置することで、緑量感を増やすことができる。



凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

(オ)寄せ

歩行者動線に配慮した上で、建物等の構造物に寄せて植栽することは、空間の有効活用や緑量感を増す効果がある。



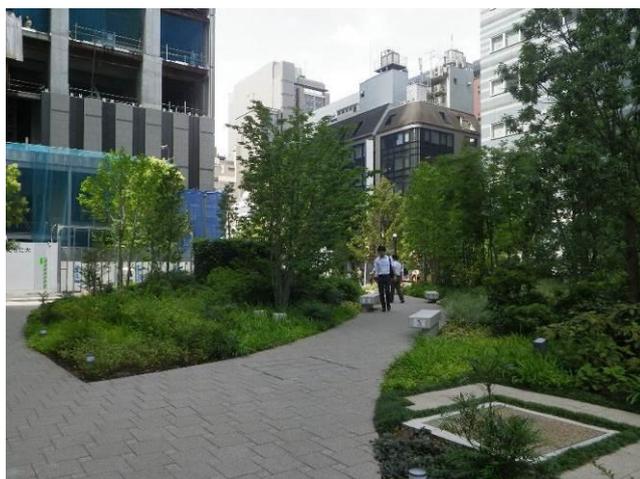
(カ)厚み

歩道状空地の植栽、建物側に寄せられた植込み、広場状空地の緑陰樹の連担で緑の厚みが増している。



(キ)エッジ

歩道状空地の植栽として基盤を立ち上げず、かつ、エッジを曲線にすることで、和らいだ空間が造られる。



壁による植栽帯の立ち上げは、歩行者へ圧迫感を与える場合がある。(地形上、やむを得ない場合は除く。)



凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

イ 落葉樹と常緑樹をバランスよく配置し、四季の変化に富んだ美しい空間を創出する

落葉樹と常緑樹をバランスよく配置し、四季の変化に富んだ美しい空間を創出している。



常緑樹だけでなく落葉樹も併せて配植することにより、季節感のある空間を演出することができる。



ウ 既存樹木を活用する

地域の財産としての緑を継承するため、大径木や長年地域に親しまれてきた樹木を保全・活用している。

エ 樹高の高い木を植栽するなど、ボリューム感のある緑の空間を創出する

樹高の高い樹木を植栽することにより、竣工当初から緑量を感じられるほか、建築物の周辺への圧迫感を軽減する効果が期待できる。



凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

オ 植物の生育に適した植栽基盤の確保

(ア) 雨水の供給

高木の根元を地被植栽で広く覆うことは、踏圧の防止、雨水の供給など、植物の生育上効果があるほか、開放的な景観形成にも寄与する。



高木の根元について、踏圧防止と舗装材の見栄えを優先する結果、雨水の供給上効果が薄くなる場合がある。



(イ) 人工地盤上の植栽

人工地盤上でも、樹種を選択、植栽配置等の工夫により開放的で落ち着いた空間を形成している。



人工地盤上でも緑量を感じさせる植栽が可能である。



人工地盤上の植栽環境が適切でなく、植栽の生育が不良となっている。土壌環境などに配慮することにより、植物の健全な育成を図ることが重要である。

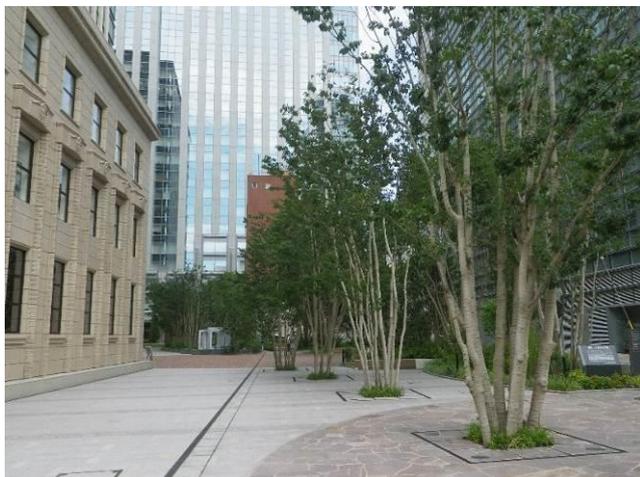


植栽が枯れている。

凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

(ウ) 植栽間隔

樹木の将来樹形を考慮した適切な間隔で高木を植栽し、緑量のある空間を創出している。



街路樹と連携した公開空地の高木植栽であるが、両者の間隔が狭すぎるため、枝が競合している。



凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

コラム：「造園の魅力が引き出された美しい空間」

都心では、緑地が都市に潤いを与え、都市が緑地のにぎわいや造形の美しさを与えています。都市と緑地を一体的に考えることによって、空間の効率的・効果的な活用が可能となります。このように、都市において緑地のデザインを行う際は、都市計画やランドスケープとの連携を図ることが大切です。

また、古くから大きな建物には、庭園が設けられていました。これらの庭園は、生活の中で様々な役割があり、歴史的・文化的にも重要で、人間の生活の中で自然を体現できる空間として貴重でした。庭園を通じて、多くの方の理想とする緑地空間は、四季が感じられ、自然に配慮した心地よい安らぎを与えてくれる空間と考えられています。このような空間には、奥に高木、手前に中木や低木を配置し、緑の奥行を持たせ、景観に配慮したメリハリのある配植を行うなど、多くの造園技法（シンボル、アイストップ、抜け、一段の塊、寄せ、厚み、エッジ等）が用いられているのです。

今度、機会があれば緑地空間を観察してみたいかですか。「あっ」と思わせる匠の技が発見できるかもしれません。



撮影：大手町ビル

(5) 生物多様性の保全

ア 生物多様性の保全に配慮した植栽種とする

クヌギ・コナラなどの在来種を植栽し、昔ながらの武蔵野の雑木林の植生を復元している。

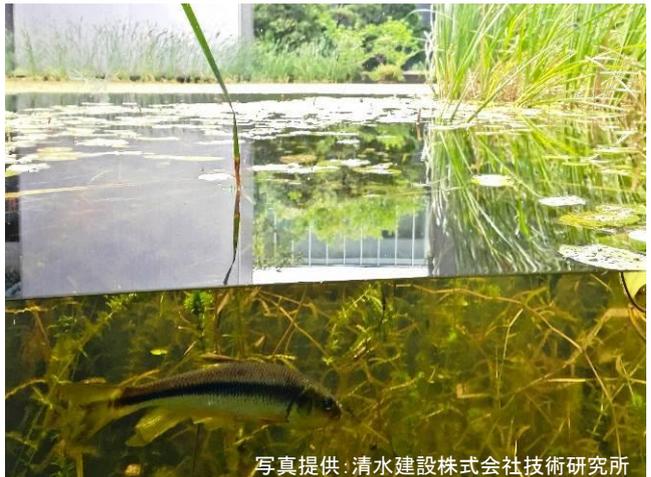


野生では希少となった植物を植栽し、種の保全の場となっている。

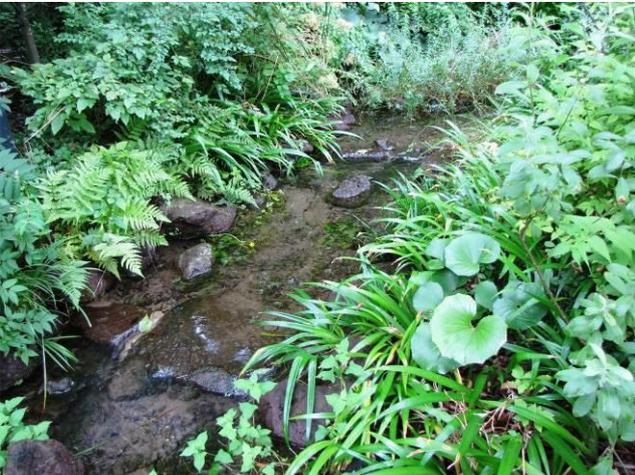


イ 生物の生育・生息空間の整備

池をつくることで、水に関係する多くの生きものの生息場所となっている。



変化のある流れをつくることで、流水性の生きものの生息場所となっている。



多くの草地性の生きものが住めるよう多様な草丈がある草地として整備・管理している。



凡例 青字：望ましい事例

落ち葉溜めを設置し、虫などの住みかとなるほか、地域内の物質循環を促進している。



擁壁を石積みとするなど、生きものが生息しやすい多孔質な空間をつくっている。



ウ 既存の生物多様性の保全

開発地内の既存の樹林を残すことにより、地域の生物多様性を保全している。



エ 生物多様性に関する普及啓発の推進

説明板を設置し、生物の生息空間として整備したことや意義などを広く周知している。



生物種の解説板を設置し、利用者に理解を促している。



凡例 青字：望ましい事例

コラム：「東京に“生きもの”が住む空間を作る意味」

東京の都市部に生物の生育・生息空間を作る意味はあるのでしょうか。

まず、都市化が進み自然地が少なくなり、もともと住んでいた生きものの種類や数が減ってしまった東京だからこそ、生きものたちが住める空間を作っていく意味があります。

トウキョウサンショウウオやタマノカンアオイなど、東京や多摩という名が付き、地球上でも東京近辺にしかいない生物種もあります。今は希少種となっていますが、昔はもっと見られたのかも知れません。東京に東京の生きものがいるということが、地球上の生物多様性からもとても大事なことなのです。

次に、日本の人口の1／10という多くの人々が住み、働く東京だからこそ、身近に生きもの空間があることに意味があります。それは、多くの人々の目に触れることで、生きものや生物多様性のことを多くの人に知ってもらい、感じてもらうことができるからです。

さらに、都心居住型マンションなどの建設も進んでおり、都心が「ふるさと」となる子供達も増えている中、都心で生まれ育つ子ども達が身近に生きものに触れ合えることも重要なことです。幼児期における自然体験は人間としての成長過程において重要な役割を果たすともいわれています。

また、自然豊かな国「日本」の「ふるさと」としての自然観や文化などを認識して世界において活躍するためにも、多くの人々が生まれ育っていく東京で生きものと触れ合えることも大切です。

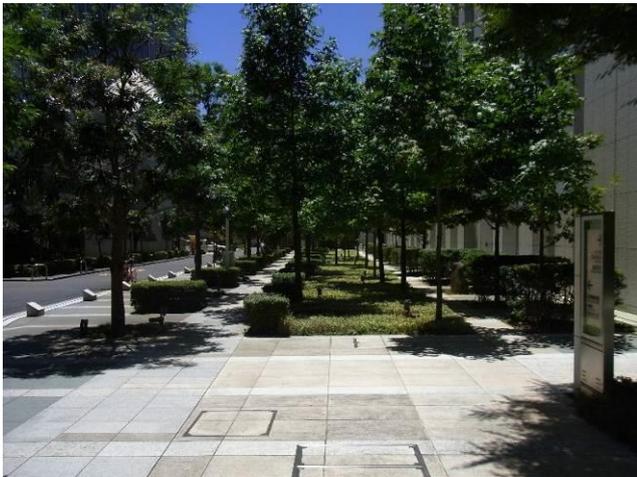
都心の公開空地でも虫捕り網をもった子供たちが見られるようになるといいですね。



(6) その他公開空地等の価値の向上に資するもの

ア 照り返しを抑えるなど、快適な空間を創出する

歩道状空地に高木や低木を組み合わせることで植栽することにより、照り返しを抑制している。



イ 建築物の壁面や屋上、公開空地内の擁壁等の緑化を促進する

道路沿いの壁面やバルコニー、屋上の緑化など、地上部から視認性の高い建築物上の緑化を促進することにより、潤いと親しみの感じられる街並み景観を形成している。



長大な壁面や構造物等の人工物を緑化することにより、利用者への圧迫を軽減し、緑量を感じることが出来る空間を形成している。



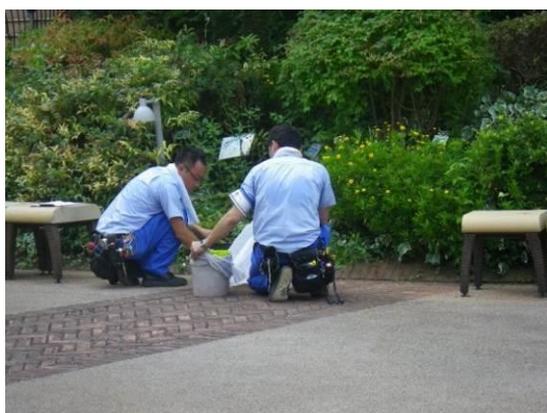
凡例 青字：望ましい事例

コラム：「みどりの質を高める」

近年の都市緑化への関心の高まりから、樹木等のみどりの量を増やす議論が盛んとなっており、東京都においても平成 14 年から緑化計画書により、みどりの量の確保の義務化が行われています。さらに、平成 19 年からみどりの質を高めるべく「公開空地等のみどりづくり指針」の運用を行っています。民間事業者の真摯な対応により、これまでに多くの質の高い公開空地が設置されています。

しかしながら、一部の公開空地では、土壌や立地等の周辺環境に適合した樹木の植栽がされていないことが原因で、生育に問題がある樹木が見受けられています。そのため、日頃の植生管理を行う中で、必要に応じて樹木医や造園家など専門家のアドバイスを求めるなどの事前対策を講じ、みどりの質を高める努力が求められます。

特に、みどりの質を高めるためには、巧みな造園技法による美しい美観や配植を施していく必要があります。これらの能力を持った造園家等による施工が求められています。



撮影：晴海トリトンスクエア